

農 研 速 報

平成 24 年 1 月 11 日 発行
茨城県農業総合センター農業研究所
〒311-4203 茨城県水戸市上国井町 3402
Tel 029-239-7211 Fax 029-239-7306

作物名（大豆）

県 名	生育ステージ		生育の状況	問題点	これまでに講じた対策及び今後の方針
	本 年	平年対比			
茨 城 県 (水戸市)	タチナガハ 10/20 成熟期	2 日早い	大豆生育期間（6 月 20 日～10 月 27 日）の気象は、平均気温が平年（直近 5 ヶ年）より 0.8℃高く、日照時間が平年比 120%、降水量が 127%であった（水戸地方気象台観測値）。 開花期は、タチナガハが平年より 1 日早く、納豆小粒は平年より 2 日遅かった。成熟期は、タチナガハが平年より 2 日早く、納豆小粒が平年より 2 日遅かった。 生育は、タチナガハでは、主茎長が平年より短く、全重が平年の約 60%だった。結実英数および百粒重がそれぞれ平年比約 85%で、粗子実重は平年比 70%と低かった。成熟期前 1 ヶ月間の平均気温が平年より 0.7℃低く、子実の肥大が十分に進まなかったと考えられる。納豆小粒では、分枝数が平年より少なく、全重が平年の約 70%だった。百粒重が平年並みだったが、分枝数が少ないことから結実英数が平年比約 80%で、粗子実重は平年比 85%と低かった。 病害は、薬剤による適期防除を実施したことにより、紫斑粒等の発生はほとんどなかった。	大豆を連作したことにより、同一圃場内でダイズシストセンチュウの被害が発生した（今回の調査区には影響なし）。	・紫斑病及び害虫の防除を適宜実施した。
	納豆小粒 10/27 成熟期	2 日遅い			

表 生育及び収量（成熟期調査）

品種	開花期			成熟期			主茎長			主茎節数			分枝数		
	本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	7月31日	1 7月30日	△1 8月1日	10月20日	△17 (11月6日)	△2 (10月22日)	51	99 (51)	88 (57)	13.7	109 (12.5)	101 (13.5)	4.5	97 (4.6)	103 (4.3)
納豆小粒	8月11日	1 8月10日	2 8月9日	10月27日	△9 (11月5日)	2 (10月25日)	71	97 (73)	96 (74)	18.2	105 (17.3)	109 (16.7)	4.8	91 (5.3)	78 (6.2)

品種	茎の太さ			全重			結実英数			粗子実重			百粒重		
	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (英/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	9.1	110 (8.3)	107 (8.5)	34.7	74 (47.0)	57 (60.6)	42.6	83 (51.4)	86 (49.8)	24.1	76 (31.7)	70 (34.3)	29.0	85 (34.0)	85 (34.3)
納豆小粒	7.9	103 (7.9)	100 (8.1)	38.8	82 (47.5)	67 (57.7)	126.4	77 (164.6)	78 (162.0)	25.2	88 (28.5)	85 (29.8)	9.8	111 (8.8)	102 (9.6)

試験場所は水戸市農業研究所内畑圃場（表層腐植質黒ボク土）。

()内は前年または平年値。平年値は平成18年～22年(5ヵ年分)のデータの平均値。

茎の太さは第1節(子葉節)と第2節(初生葉節)の節間で測定。

平年差の△は平年より早いことを示す。

耕種概要：6月20日播種、11.1株／m²（畦間60cm×15cm）1本立て、施肥量：N-P₂O₅-K₂O：0.3-1.0-1.0kg/a